

for the next stage

人に、街に、環境に。積水ハウス



SEKISUI HOUSE



BUSINESS REPORT

第61期 中間報告書 2011.2.1 >>> 2011.7.31

積水ハウス株式会社

証券コード：1928



積水ハウスは環境省認定
「エコ・ファースト企業」として
「チャレンジ25」に取り組んでいます



グリーンファーストは Green First

積水ハウスは、グリーンファースト

なぜ選ばれるのか Vol.3 — お客様に圧倒的に支持される理由 —

快適性と経済性、そして環境配慮をキーワードに開発された理想の住まい「グリーンファースト」。2009年の発売以来、お客様から高い評価をいただいているポイントをシリーズで解説していきます。

快適・エコライフを地震から守る強い家づくり



住まいの快適さを向上しつつ、家計の負担を軽減し、環境への配慮も実現するグリーンファースト。その先進的な生活環境は、「強い家」づくりのテクノロジーによって、地震発生時にもしっかりとガードされます。万一の時にもご家族に安全と安心を提供する。これもグリーンファーストの大きな要素の一つです。

新築戸建住宅の「グリーンファースト」契約実績・比率

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度(上期)
契約実績	2,071棟	7,401棟	10,961棟	—
比率	13%	52%	71%	78%

※当社の事業年度は2月1日から翌年1月31日まで
※2008年度は太陽光発電システムの出荷実績に基づく

● 環境・省エネにとどまらない、ワンランク上の地震対策 ●

グリーンファーストと言えば、太陽光発電や家庭用燃料電池、高断熱仕様、LED照明、親自然デザインの導入等による環境・省エネ志向の住宅という認知が広まってきました。しかし忘れてならないのが、そこに暮らすご家族と暮らしをがっちり守る技術。東日本大震災の発生以来、住まいの地震対策への関心が高まっています。

グリーンファーストは、環境・省エネだけでなく、地震対策でも耐震・制震・免震の3つの構造でワンランク上の安全・安心を提供します。

今号の表紙について

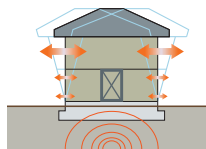


積水ハウスは、街や自然、住む人など、様々な視点から敷地環境を高める「シャーマンガーデンズ」を提案しています。オーナー様の大切な土地の可能性を最大限に引き出し、「いい環境」を経営の力に変えて、住む人に将来まで選ばれ続ける賃貸住宅を提供します。

地震から家を守る3つの構造

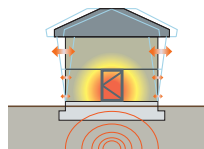
地震の揺れに備える建築構造には、大きく分けて「耐震」「制震」「免震」の3つがあります。従来は、柱や梁の強度によって地震の揺れに耐える「耐震構造」が一般的でしたが、最近ではダンパーなどを建物に組み込むことで揺れを吸収・抑制する「制震構造」や、揺れを伝えないようにするメカニズムを建物の足元に設置する「免震構造」が注目されてきています。

地震に対して踏ん張る
耐震構造



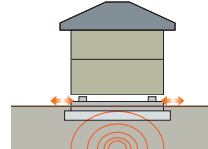
耐力壁などの耐震部材を配置し、地震の揺れに対して地面に踏ん張って耐える構造。

建物の揺れを抑制する
制震構造



制震装置を組み込むことで、地震の力を吸収し、揺れを抑制しながら耐える構造。

地震の揺れを建物に伝えない
免震構造



建物の足元に免震装置を設け、地震の揺れそのものを建物に伝えないようにする構造。

「耐震」+「制震」による地震対策 **地震動エネルギー吸収システム SHEQAS** 「シーカス」

東日本大震災の発生を機に注目を集めているのが、積水ハウスオリジナルの地震動エネルギー吸収システム「シーカス (SHEQAS)」。

耐震構造として頑強につくられた構造体の1階耐力壁の一部を、建物の揺れにブレーキをかける「シーカスダンパー」を組み込んだ「シーカスフレーム」に置き換えることで、地震のエネルギーを熱エネルギーに変換して揺れを吸収するシステムです。

このメカニズムにより、「シーカス」は地震に伴う建物の変形を約1/2に低減し、内外装の損傷も軽微に抑えることが可能。また、繰り返し発生する地震に対しても、「シーカスダンパー」が損傷なく元の形状に復元するため、住まいの長寿命化が図れます。

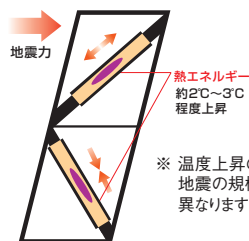


「シーカスフレーム」



「シーカスダンパー」

- 地震動エネルギーを熱エネルギーに変換して揺れを吸収



※ 温度上昇の程度は地震の規模等により異なります。

さらなる安心を追求した「免震住宅」 **震度7の揺れを1/10以下に低減**

そして、地震の揺れ自体から免れるメカニズムを導入したのが、積水ハウスの「免震住宅」。振動を建物に伝えにくくする「免震支承」と、建物が大きく動くのを抑える「オイルダンパー」の相乗効果で、地震の揺れを大幅に低減します。

実大実験では、震度7の揺れを1/10以下に低減する(※)という優れた免震性能が確認されました。住まいの地震対策の決定版とも言える安心を提供します。

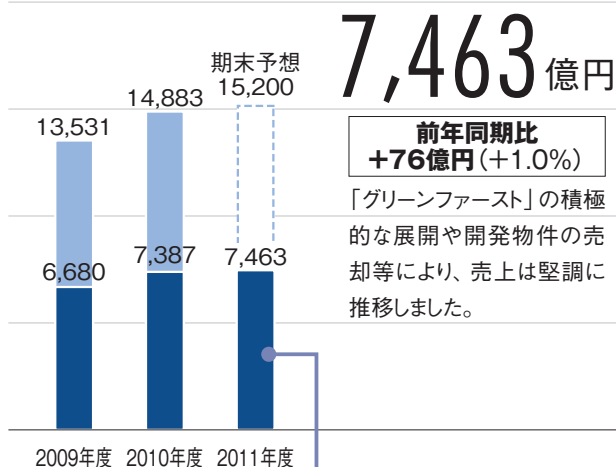
(※)低減の状況は建物プラン・地震波により異なります。

連結決算ハイライト

売上高

(億円)

■第2四半期 ■通期



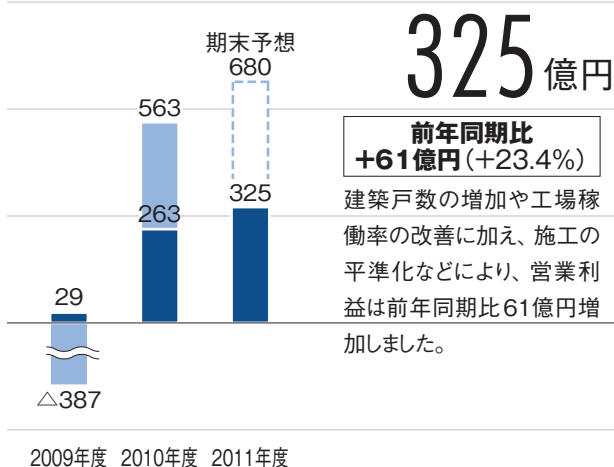
**前年同期比
+76億円(+1.0%)**

「グリーンファースト」の積極的な展開や開発物件の売却等により、売上は堅調に推移しました。

営業利益

(億円)

■第2四半期 ■通期



**前年同期比
+61億円(+23.4%)**

建築戸数の増加や工場稼働率の改善に加え、施工の平準化などにより、営業利益は前年同期比61億円増加しました。

セグメント別売上高

その他事業 366億円(前年同期比+125億円)

昨年8月にオーストラリアのAVジェニングス社の住宅請負建築部門を買収したことで増収となりました。

不動産フィー事業 1,879億円(前年同期比+79億円)

積和不動産各社の管理戸数増加や都市部を中心とした高い入居率維持から増収となりました。

リフォーム事業 499億円(前年同期比+64億円)

省エネルギーの積極的提案や、震災後の復旧対応等から増収となりました。

都市再開発事業 256億円(前年同期比+150億円)

台場ガーデンシティ等の物件売却が寄与して増収となりました。

戸建住宅事業 2,278億円(前年同期比+30億円)

「グリーンファースト戦略」に加え、各種住宅支援策の後押しもあり、堅調に推移しました。

賃貸住宅事業 1,333億円(前年同期比-39億円)

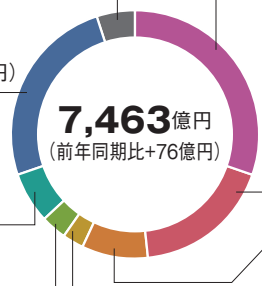
販売棟数は増加したものの、工事進行基準の影響を受け、前年同期比では減収となりました。

分譲住宅事業 654億円(前年同期比-84億円)

在庫調整を進めた結果、販売物件が減少し、低調に推移しました。

マンション事業 195億円(前年同期比-251億円)

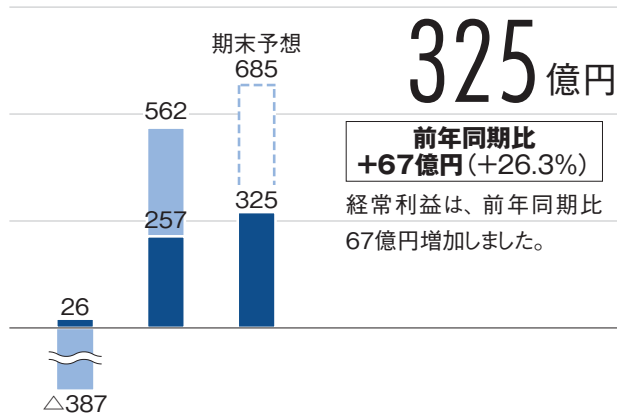
在庫調整を進めた結果、販売物件が減少し、低調に推移しました。



経常利益

(億円)

■第2四半期 ■通期

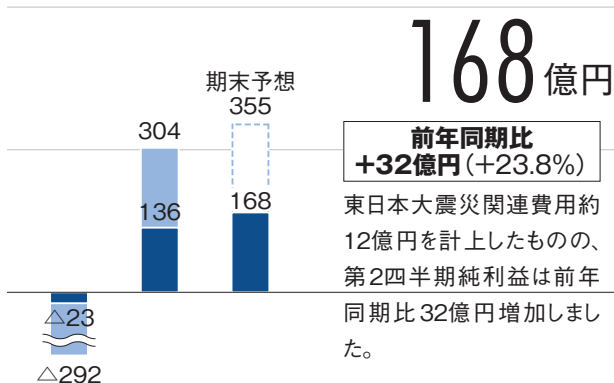


2009年度 2010年度 2011年度

当期純利益

(億円)

■第2四半期 ■通期

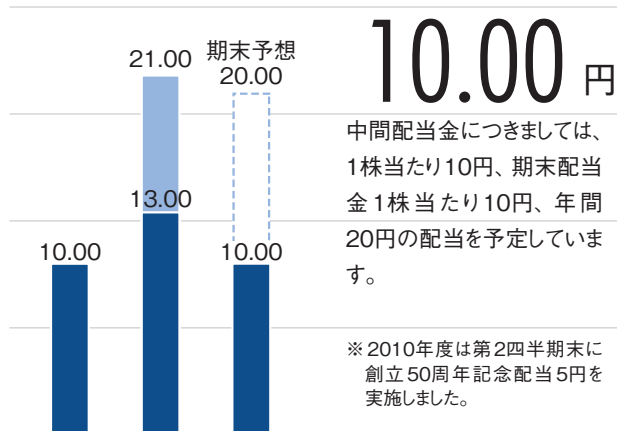


2009年度 2010年度 2011年度

1株当たり配当金

(円)

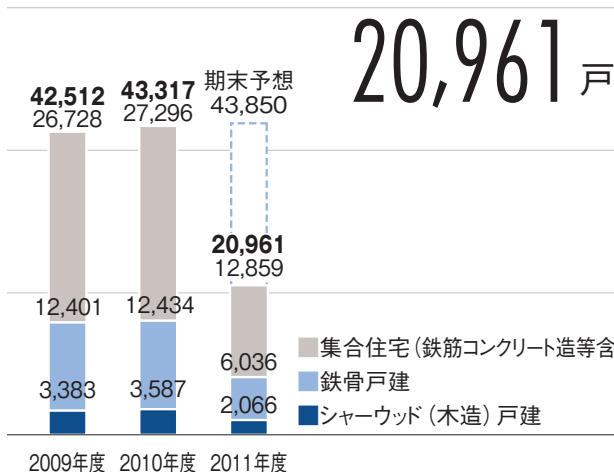
■第2四半期 ■通期



2009年度 2010年度 2011年度

販売戸数実績

(戸)



2009年度 2010年度 2011年度

震災後、変化する住まいに対する意識。
積水ハウスは時代を先取りし、
新たな価値を提案し続けます。



代表取締役社長兼COO
阿部 俊則

代表取締役会長兼CEO
和田 勇

家族の生命と財産を守る住まい。その責任の重さに改めて身の引き締まる思いです。

東日本大震災発生以降、積水ハウスは、住宅業界のリーディングカンパニーとしての社会的責任を果たすために、オーナー様、そして、被災地の支援と復旧に向け、グループの総力を挙げた活動に全力で取り組んでいます。求められるのは地域ごとに異なる状況を正確に把握し、

迅速かつ的確に対応することです。政府・自治体の協力要請に応えた良質な仮設住宅の建設も重要な使命と受け止め、最大限の力を注いでいます。

一方で、4月1日には、少しでも早い被災地の生活再建を願い、被災地限定で早期着工、工期短縮を可能にした特別仕様のパッケージ型商品「がんばろう東北」の販売を開始しました。こうした本業を通じた復興支援も急

ピッチで進んでいます。

ここで注目されているのが、「がんばろう東北」にも標準装備されている国土交通大臣認定、積水ハウスのオリジナル制震システム「シーカス」です。これまでの耐震構造のように地震に耐えるだけでなく、揺れを吸収し、いわば“地震にブレーキをかける”システムで、震災以降受注が増加し、7月には鉄骨戸建住宅への搭載率が7割を超えました。私たちは今、「家族の生命と財産を守る」という住宅産業の使命、その責任の重さを改めて痛感しています。

より進んだ安心、3電池を搭載した新しい「グリーンファースト」の誕生です。

大震災の発生により、私たち日本人の住まい、暮らしに対する意識は一変したといっても過言ではありません。ひとつは地震、津波などの自然災害に対する備え。そして、もうひとつはエネルギー問題です。これまでも積水ハウスは、住まいの安心、環境の未来や暮らしのエネルギーに対して先駆的な取り組みを進め、確かな実績を積み重ねてきました。そのシンボルである環境配慮型住宅「グリーンファースト」は、6月には戸建住宅受注の8割を超えるまでに至っています。さらにここにきて、時代は“その先”を求め始めました。「省エネ」や太陽光発電システム、家庭用燃料電池などによる「創エネ」から、エネルギーを蓄える住宅へ。非常時への備えという側面からも、エネルギーの有効活用という側面からも“蓄エネ”という考え方が、一気に浮上してきました。

こうした時代の要請に応え、8月に3電池（太陽電池、燃料電池、蓄電池）を備えた「グリーンファースト ハイブリッド」を世界に先駆けて発表しました。「蓄電池」を組み合わせることで、快適に暮らしながら大幅な節電を可能にし、日中は電力を供給する“街の発電所”となり、電力不足克服にも貢献します。万が一の非常時も、自立した生活を可能にする住まいです。積水ハウスは、「グリーンファースト ハイブリッド」を戸建住宅における最も環境対策レベルの高い住宅モデルと位置づけています。

CS（顧客満足）を再確認し、お客様に独自の価値を提供し続けます。

積水ハウスの独自性、強みを生み出す源泉は、言うまでもなくCS（顧客満足）です。昨年1月に策定した中期経営計画の業績目標を、予定を上回るペースで達成できていることも、この徹底したCSの追求が成長の原動力の証にほかなりません。今、改めてCSの大切さを再確認しています。

2010年度決算の概要と今後の計画 （単位：百万円）

	2010年度 実績	2011年度 計画	2012年度 計画
売上高	1,488,369	1,520,000	1,600,000
営業利益	56,354	68,000	75,000
経常利益	56,271	68,500	75,000
当期純利益	30,421	35,500	42,000

※2011年度計画の業績予想を上方修正しました。

積水ハウスは、CSをすべての企業活動の根底に据え、お客様に独自の価値を提供しています。

まず戸建住宅においては、7月に空気環境配慮仕様「エアキス」を鉄骨戸建住宅の主力商品に標準採用しました。積水ハウスは、従来から「健康」も大切なテーマと捉えており、ホルムアルデヒドなどの有害化学物質の室内濃度について、化学物質を「出さない」「換気する」「吸着させる」という3つのアプローチで国の基準の2分の1以下を実現し、上質な室内空気環境の提供を可能にしました。また、木造戸建住宅「シャーウッド」においては、焼きものが持つ自然の風合いや質感とすぐれた耐久性、耐候性を誇るオリジナル陶版外壁「ベルバーン」が、お客様から大変好評をいただいております。来春には静岡工場に「ベル

バーン」の製造ラインを新設することで生産体制の強化を図り、お客様のご要望にお応えしてまいります。

賃貸住宅「シャームゾン」においては、上階からの衝撃音を約2分の1に抑える高遮音床システム「シャイド55」が受注棟数の7割以上に採用されるまでに至りました。

開発事業に関しては、京都、二条大橋のたもとという絶好のロケーションに新築する建物に、2014年春、世界を代表する最高級ホテルブランド「ザ・リッツ・カールトン」が開業することが決定しました。また、開発事業者の1社として参画している「うめきた(大阪駅北地区)先行開発区域プロジェクト」(施設名称:グランフロント大阪)についても、2013年春の竣工に向けて順調に進んでいます。

オーストラリアでの住宅建設・販売からスタートした海外展開も着実に拡大しています。シンガポール、中国蘇州、米国シアトルでの宅地・都市開発。いずれも、パートナーの選定、国ごとに異なる潜在リスクに細心の注意を払いながら、現地からも歓迎、評価される事業を推進してまいります。

今、積水ハウスの取り組みと時代の要請、お客様の意識がしっかりとリンクしてきました。

この機に、改めて基本を見つめ直し、さらに前進する積水ハウスにどうぞご期待ください。



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 (2011年7月31日現在)	前期末 (2011年1月31日現在)
資産の部		
流動資産	894,753	822,530
固定資産	529,132	518,778
有形固定資産	356,143	352,131
無形固定資産	13,865	9,809
投資その他の資産	159,123	156,837
資産合計	1,423,886	1,341,308
負債の部		
流動負債	334,618	324,088
固定負債	337,859	279,190
負債合計	672,477	603,279
純資産の部		
株主資本	743,470	732,021
資本金	186,554	186,554
資本剰余金	237,522	237,522
利益剰余金	320,821	309,361
自己株式	△1,427	△1,416
評価・換算差額等	6,705	4,940
新株予約権	330	292
少数株主持分	902	774
純資産合計	751,408	738,029
負債純資産合計	1,423,886	1,341,308

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2011年2月1日から 2011年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2010年2月1日から 2010年7月31日まで)
売上高	746,393	738,777
売上原価	614,519	612,808
売上総利益	131,874	125,969
販売費及び一般管理費	99,321	99,586
営業利益	32,552	26,382
営業外収益	3,684	3,469
営業外費用	3,668	4,068
経常利益	32,568	25,784
特別利益	—	132
特別損失	3,049	1,609
税金等調整前四半期純利益	29,518	24,307
法人税等	12,631	10,668
少数株主利益	18	16
四半期純利益	16,868	13,622

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) (2011年2月1日から 2011年7月31日まで)	前第2四半期(累計) (2010年2月1日から 2010年7月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,300	42,605
投資活動によるキャッシュ・フロー	△18,482	△11,395
財務活動によるキャッシュ・フロー	48,621	67,275
現金及び現金同等物に係る換算差額	859	△213
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,698	98,271
現金及び現金同等物の期首残高	151,983	148,630
現金及び現金同等物の四半期末残高	154,681	246,901

東日本大震災に関する お客様支援と復興への取り組み

2011年3月11日、国内観測史上最大の地震が発生。

誰も経験したことのない未曾有の災害状況の中で、積水ハウスは住宅業界のリーディングカンパニーとしての責務を果たすべく、その直後から積水ハウスグループの総力を挙げた活動を開始しました。

震災当日からお客様の安否確認と支援を開始

震災発生を受け、直ちに阿部社長を本部長とする対策本部を立ち上げ、情報・指示系統を一元化し、関係会社を含めグループ一丸となってお客様の安否確認および支援を行う初動体制を整えました。

被災地における当社住宅は、震度5強以上のエリアに177,458棟ありましたが、当日から開始した電話連絡と直接訪問により、約3週間でお客様の安否や建物の被災状況の確認を終え、復旧工事をスタート。一方、被災地に向けた支援物資の供給は、地震発生後の3時間後には静岡工場から第1便が出発。その後も順次輸送を続け、お客様や従業員だけでなく、病院や避難所、一般被災者の方々にも物資を届けました。

仮設住宅建設に協力、そして本格的な復興へ

関東工場・東北工場は、地震発生後約1週間で復旧し、生産・出荷を再開。復旧・復興工事に必要な資材の調達については、取引先各社の協力を得て早期に安定供給体制を整えました。また、全国規模の組織力を生かし、応援人員を被災地に派遣。一日も早い復旧・復興を目指しています。

政府・自治体からの仮設住宅建設の協力要請に応え、宮城・岩手・福島の3県で断熱性に優れ、バス・トイレを完備した約2,700戸の仮設住宅を急ピッチで建設しました。さらに、被災地の皆様に少しでも早く安全・安心・快適な住まいを提供するため、工期を短縮したパッケージ型の商品「がんばろう東北」も用意し、被災地の復興を支援しています。



全国のカスタマーズセンター従業員が応援に



急ピッチで進む仮設住宅の建設



被災地に届けられた支援物資

NEWS FLASH

ニュースフラッシュ

空気環境配慮仕様

子どもを基準に考えた、空気環境配慮仕様「Airkis(エアキス)」



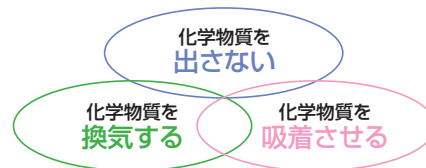
7月15日に空気環境配慮仕様「エアキス」の販売を開始しました。

人が体内に取り入れる物質のうち、一生で最も多く摂取するのは「空気」です。また、体重1kgあたりで比較した場合、子どもは大人の約2倍の空気を摂取していることから、より影響の大きい子どもを基準に空気環境を考える必要があります。

「エアキス」では、シックハウスの原因の一つと言われているホルムアルデヒドをはじめとする5つの化学物質の室内濃度に関して、厚生労働省が定める濃度指針値の2分の1以下に低減することを実現しました。さらに、建物の

竣工時には室内の化学物質濃度を測定し、そのデータを公的な第三者機関で分析したうえで、お客様に空気環境の「性能評価証」をお渡ししています。

積水ハウスは、この「エアキス」を鉄骨戸建住宅の主力商品に標準で設定し、「グリーンファースト」の中でも快適性(健康)に力点を置いた商品として更なる魅力を付加してまいります。



「エアキス」の考え方

世界初の3電池搭載住宅「グリーンファーストハイブリッド」



8月8日、太陽電池・燃料電池・蓄電池の3電池を組み合わせた環境配慮型住宅「グリーンファーストハイブリッド」の販売を世界に先駆けて開始しました。

太陽電池と燃料電池による創エネ技術と、蓄電池による蓄エネ技術によって、「快適性」「経済性」「環境配慮」を実現しながら大幅な節電や省エネを可能にします。さらに停電などの非常時でも自動的に電力供給システムが稼働し、電力を継続供給できるため安心です。また、太陽光発電システムで発電した余剰電力を日中に売電することによって、“街の

発電所”として電力不足に貢献します。

積水ハウスは、「グリーンファーストハイブリッド」を戸建住宅における最も環境対策レベルの高い住宅モデルと位置づけ、積極的に販売することで、安心で環境負荷の少ないサステナブルな社会づくりに寄与してまいります。



会社情報

会社概要

社名	積水ハウス株式会社
設立年月日(実質上)	1960年8月1日
本社	〒531-0076 大阪市北区大淀中一丁目1番88号 (梅田スカイビル タワーイースト) TEL.(06)6440-3111(代)
資本金	1,865億5,419万円

役員一覧

代表取締役会長兼CEO	和田 勇	常務執行役員	寺崎 明久
代表取締役社長兼COO	阿部 俊則	執行役員	飯島 美嗣
取締役副社長兼副社長執行役員	和田 純夫	執行役員	本村 勉
取締役副社長兼副社長執行役員	稲垣 士郎	執行役員	石井 直樹
取締役	町田 勝彦	執行役員	石岡 孝伸
取締役兼専務執行役員	平林 文明	執行役員	老川 正昭
取締役兼専務執行役員	寺田 順一	執行役員	勝呂 文康
取締役兼常務執行役員	内田 隆	執行役員	吉崎 道夫
取締役兼常務執行役員	伊久 哲夫	執行役員	中野 啓吾
取締役兼常務執行役員	黒木 大二	執行役員	浅野光太郎
取締役兼常務執行役員	吉田 憲五	執行役員	山田 寿夫
常任監査役	岩崎 正	執行役員	松島 雄一
常任監査役	久保田 芳郎	執行役員	藤原 元彦
監査役	土肥 孝治	執行役員	三谷 和司
監査役	三枝 輝行	執行役員	中田 孝治
監査役	満生 英二	執行役員	岩田 晴幸

WEBサイト

当社はホームページを重要な情報発信源のひとつとして認識しており、決算情報や商品情報などを適宜掲載しております。ぜひ、ご覧ください。



<http://www.sekisuihouse.co.jp/>

主な事業所

- 東京支社 〒107-0052
東京都港区赤坂四丁目15番1号
(赤坂ガーデンシティ)
TEL.(03)5355-1700(代)
- 東北営業本部 〒980-0014
仙台市青葉区本町二丁目15番1号
(ルナール仙台)
TEL.(022)265-1705
- 東京営業本部 〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3200
- 東京シャーマゾン事業本部
〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3220
- 神奈川営業本部 〒220-8120
横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号(横浜ランドマークタワー)
TEL.(045)650-7311
- 埼玉営業本部 〒330-0854
さいたま市大宮区桜木町一丁目7番5号(ソニックシティビル)
TEL.(048)647-3931
- 東関東営業本部 〒261-7119
千葉市美浜区中瀬二丁目6番1号
(WBGマリブイースト)
TEL.(043)350-1811
- 北関東営業本部 〒320-0811
宇都宮市大通り二丁目1番5号
(明治安田生命宇都宮大通りビル)
TEL.(028)636-6761
- 中部第一営業本部 〒450-6042
名古屋市名区名駅一丁目1番4号
(JRセントラルタワーズ)
TEL.(052)533-1637
- 中部第二営業本部 〒422-8067
静岡市駿河区南町18番1号
(サウスポット静岡)
TEL.(054)284-1222
- 中部シャーマゾン事業本部
〒460-0008
名古屋市中区栄三丁目18番1号
(ナディアパークビジネスセンタービル)
TEL.(052)265-1630
- 関西第一営業本部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3645
- 関西第二営業本部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3646
- 関西シャーマゾン事業本部
〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番93号
(梅田スカイビル ガーデンシックス)
TEL.(06)6440-3456
- 中国営業本部 〒730-0041
広島市中区小町1番25号
(タケダ広島ビル)
TEL.(082)248-4330
- 四国営業本部 〒761-8062
高松市室新町1019番地1号
TEL.(087)867-5101
- 九州営業本部 〒812-0011
福岡市博多区博多駅前三丁目25番21号(博多駅前ビジネスセンター)
TEL.(092)472-3211
- 国際事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3723
- 東日本開発事業部 〒151-8070
東京都渋谷区代々木二丁目1番1号
(新宿マインズタワー)
TEL.(03)5352-3410
- 西日本開発事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3565
- マンション事業本部 〒160-0023
東京都新宿区西新宿一丁目20番2号(ホウライビル)
TEL.(03)6302-3621
- ストック事業部 〒531-0076
大阪市北区大淀中一丁目1番88号
(梅田スカイビル タワーイースト)
TEL.(06)6440-3418

株式情報

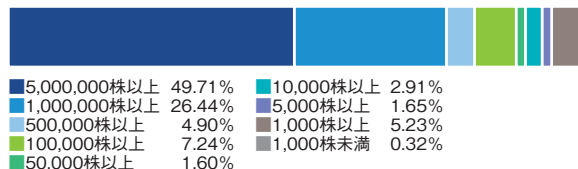
株式の状況 (2011年7月31日現在)

発行可能株式総数	1,978,281,000株
発行済株式の総数	676,885,078株
株主数	36,825名
株主1人当たり持株数	18,381株

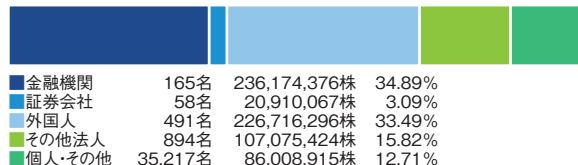
大株主(上位10名)

株主名	当社への出資状況	
	所有株式数(株)	所有比率(%)
積水化学工業株式会社	72,168,727	10.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	38,755,000	5.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	33,194,000	4.90
ザバンクオブニューヨークメロンアズデポジタリー バンクフォーデポジタリーレシートホルダーズ	21,388,015	3.16
第一生命保険株式会社	16,158,730	2.39
積水ハウス育資会	16,092,994	2.38
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	15,077,000	2.23
株式会社三菱東京UFJ銀行	13,624,515	2.01
メロンバンクエヌエーアズエージェントフォーイツククライアント メロンオムニバスユーエスベンション	11,523,771	1.70
SSBTOD05OMNIBUSACCOUNT-TREATYCLIENTS	11,455,200	1.69

所有株数別株式分布状況



所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	4月
基準日	期末配当金 1月31日 中間配当金 7月31日

株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL.0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京・大阪・名古屋証券取引所 市場第1部

各種手続きについて

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主優待制度のご案内

当社は、以下の株主優待制度を実施しております。制度の詳細は、当社インターネットホームページ(>企業・IR情報>株主情報)にて公開しております。ご不明な点は下記窓口にお問合せください。

● 株主優待贈呈制度
1月末時点で1,000株以上ご保有の株主様に対し、同年10月下旬から11月上旬にかけて、1名当たり5kgの「魚沼産コシヒカリ(新米)」を贈呈いたします。

● 株主優待ポイント制度
1月末、7月末時点で100株以上ご保有の株主様に対し、それぞれ4月末、9月末に、当社グループとの取引[※]時に値引きとしてご利用いただけるポイントを、保有株数に応じて付与いたします。

(※) 2009年8月1日より、当社グループが施工・販売した建物以外のリフォーム工事も対象を拡大し、積和建設各社・グリーンテクノ積和各社との取引にも、ご利用いただけるようになっております。

(お問合せ窓口)

積水ハウス株式会社 株主優待事務局(法務部内)
TEL.0120-559-990(通話料無料)
ご利用時間 9:00~11:55、13:00~18:00
※但し、土日祝日、年末年始休及び夏季休暇中はご利用いただけません。

今、求められている「暮らしの知恵」をご紹介します

電力不足を克服するための 楽しく簡単、快適な「節電」テクニック

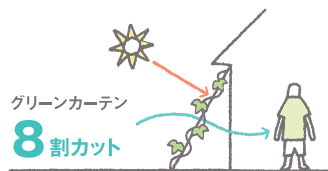
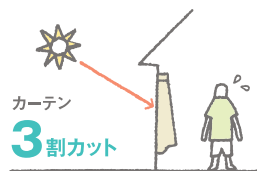
電力消費を抑える上で大切なのは、生活者一人ひとりが日頃から節電を習慣づけること。ふだんの暮らしの中でムダな電力消費が低減されていれば、それだけピーク時の水準も下がり、安定した電力供給が保たれます。

ここに紹介するのは、ご家族みんなで楽しみながら、無理なく効果的に節電するためのテクニック。「エコ・ファースト企業」としてCO₂削減に取り組み続けてきた積水ハウスからのご提案です。ぜひお試しください。

涼しく
節電

外から入ってくる熱を窓際でカット

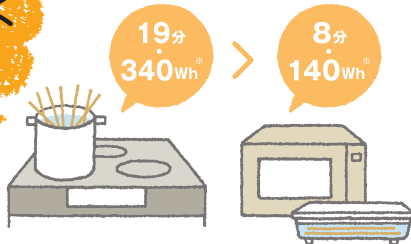
室内の熱の多くは窓から入ってくるので、これを遮る工夫でエアコンの使用を抑えましょう。窓の内側にあるカーテンやブラインドは、外からの熱を吸収してしまい、遮熱効果は3割程度しか見込めません。すだれやよしずなら7割の熱をカットし、風も通します。さらに、つる性の植物を窓に近い庭やベランダのプランターに植えれば、見た目も爽やかに8割もの熱をカット。葉から水が蒸散され、周囲の温度を下げる効果もあります。



1

おいしく
節電

2



※パスタ料理1人前の調理にかかった時間と消費電力(積水ハウス調べ)

手早く手間なく、かしこい調理で

意外に消費電力が大きいIHクッキングヒーター。3口同時に使用すると、エアコン約10台分もの電力が必要になります。使用時間を少なくするには、例えば朝食づくりと一緒にランチや晩ご飯の準備を済ませてしまう、といった工夫が有効です。また、調理方法も見直してみましょう。パスタ料理などは、大きな鍋でゆでずに電子レンジを使えば時間も短縮でき、高い節電効果があります。

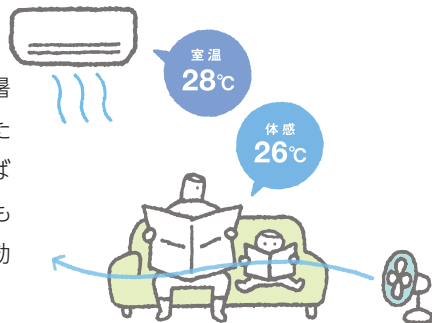
快適に
節電

3

エアコンは、使い方の見直しを

冷房の温度を2℃上げれば10%*の省エネになります。でも、暑さを我慢するのは身体によくありません。そこでオススメしたいのが、エアコンと扇風機の併用。温度設定を上げても、風があれば体感温度が下がり、快適に感じます。冷えの防止にもなり健康面でも有効。さらに、ひと部屋を冷房して、みんながそこに集まれば、節電効果とともにコミュニケーションも豊かになり、一石二鳥です。

※資源エネルギー庁「家庭の節電対策メニュー」より



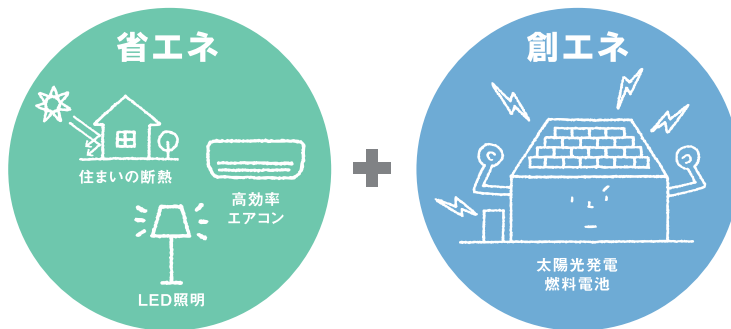
快適で無理のない節電ライフを「グリーンファースト」が実現します。

今後もしばらくは続くと予想される日本の電力不足。特に、エアコンなどで電力消費が増える夏の節電対策は急務です。しかし、暑さを無理に我慢することは、熱中症の原因にもなります。心地よさを保ちつつ、効果的な節電を果たす理想の暮らしが求められています。

積水ハウスの「グリーンファースト」は、住まいに自然の力を活かし、住宅の断熱性を高めるとともに、高効率機器を導入することで家庭のエネルギー消費を抑える「省エネ」と、太陽光発電や燃料電池「エネファーム」などによる「創エネ」をご提案。

太陽光発電はCO₂を排出しないクリーンエネルギーであり、余った電気を電力会社に売ることも可能なので家計にもプラスです。

「グリーンファースト」は、「省エネ」と「創エネ」で、光熱費の負担を軽減し、快適で無理のない節電ライフを実現します。



●DATAで見るイマドキの住まい●



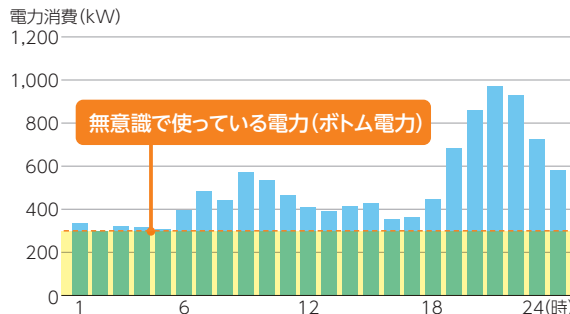
家庭内電力消費の約3割。 これって一体、何の数字!?

東 日本大震災による原発事故の発生を受け、電力不足が大きな問題となっており、この状況は今後もしばらく続くと言われています。安定した電力供給を確保するためには、一人ひとりが節電の意識を持ってエネルギーのムダ使いをなくしていくことが大切です。

ボトム電力という言葉をご存じですか?これは、家族の寝静まった深夜など、家電製品の利用が少なくなる時間帯でも、無意識にずっと使い続けている電力のこと。例えば、電源が24時間入ったままの冷蔵庫やパソコンなどです。また、その他にも多くの家電製品が、コンセントにつないでいるだけで待機電力を消費しています。こうしたボトム電力が家庭内電力消費の約3割を占めているのです。

このボトム電力の削減は、家庭における節電の大きなポイント。使わない家電製品のプラグをコンセントから抜いて、「電力ダイエット」に努めましょう。冷蔵庫の電源はオフにするわけにはいきませんが、近年の家電製品は少ない消費電力で機能するように改良されているので、古い冷蔵庫を使用している場合、いっそ新しいものに買い替えることも節電につながります。

●家庭における1日の電力使用量の変化(積水ハウス調べ)



← 積水ハウスからのご提案!
「家庭で気軽に楽しくできる節電テクニック」の紹介はこちら

積水ハウス株式会社

本社 〒531-0076 大阪市北区大淀中一丁目1番88号 梅田スカイビル タワーイースト
TEL.(06)6440-3111(代)
<http://www.sekisuihouse.co.jp/>



この報告書は、FSC™ 認証紙と、環境に優しい植物油インキを使用しています。